

他にも広い分野に及ぶ質問（抜粋）

■公共交通の利便性向上の推進

- ・公共交通は採算だけにとらわれず、中山間地での居住の利便性も勘案して確保すべき。
- ・公共交通空白地域で、インターネット予約できる乗合タクシーなど、公共交通を拡充すべき。

■電力の地産地消を促進するため、農業用水を活用して、土地改良区が行う小水力発電の導入を促進すべき。

■民生委員・児童委員のなり手確保

- ・全国では、活動費を補助する名目で民生委員・児童委員に対する費用を上乗せしている自治体もあり、本市でも検討すべき。
- ・なり手不足を解消するため、市長会や県を通して、国に様々な助成を求めていくべき。

■介護報酬改定後、経営が厳しくなった訪問介護事業者が事業を継続できるよう、本市として何ら

かの助成をする、或いは県や国に助成を要請することが必要。

■認知症になっても、人として尊厳や人権を守り、それぞれの地域で平穏に暮らしていける環境を整備することが必要。

■電子回覧板の普及を推進するために、導入初期費用のみならず、毎月の基本料や世帯数に応じた利用料にも補助することが必要。

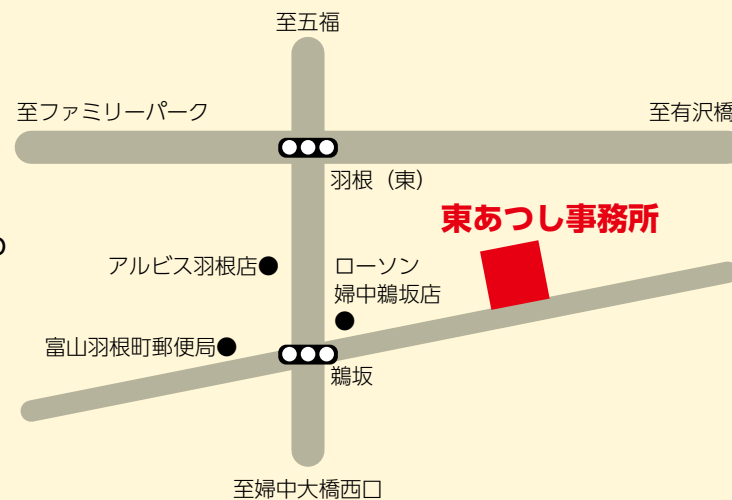
■自己都合退職する職員を減らし、定年まで働く職員を増やすことが市民サービスや市民生活の向上にもつながるが、これから実施する対策は。

■民間企業における採用スケジュールの現状を踏まえ、本市の第一次採用試験を4月に前倒しするなどの人材確保が必要。

市議会レポートに対する皆様のご意見や 市政に関するご要望などをお聞かせください！

○富山市議会立憲民主党控室
(市役所議会棟6階)
〒930-8510 富山市新桜町7-38
tel.443-2153 fax.441-5796
メールアドレス rikken-c@pa.ctt.ne.jp

○東あつし事務所
〒930-0864 富山市羽根238-14
tel.413-8682 fax.413-8683



あずま 東あつし

富山市議会レポート

2025年3月・4月

No.18

(発行責任者)
富山市議会立憲民主党
東あつし



日頃、市議会議員としての活動にご支援・ご指導を賜っていますことに、心より感謝いたします。

政務活動費の不正受給を巡り、2016年11月、13人の欠員を補充する補欠選挙で初当選させていただいてから、8年余が経過しました。この間、皆様の市政に対する様々な声を政策として押上げていかねばならないとの思いで、市議会議員としての職務を続けてまいりました。

私事ですが、1月3日に足の痺れを感じ、歩行に不自由が生じたことから緊急入院しました。病院で検査したところ、脊髄梗塞という余り症例がない病気と診断されました。以降、リハビリに励むための入院を続けたことから、皆様のもとに足を運んで話をうかがうこともできず恐縮です。幸い軽症で概ね

回復し、3月末での退院の見通しとなったことから、改めて市政発展のために力を尽くす決意です。

今回、人生初の長期入院を経験し、今更ながら健康の大切さ・有難さを我が身をもって感じています。そして、医療関係の現場では医師だけではなく様々な職種で人員が不足しており、結果として患者が望む医療サービスを十分に受けられないリスクを知る機会となりました。スタッフの皆さんの献身性で医療が支えられているとも言える実態です。富山市も更に高齢化が進むことから、医療・介護の提供体制を強化することが、市政に課せられた大きな課題の一つだと学ぶ機会になり、今後の活動にいかしていきます。

今号では以下、この4年間の市議会本会議での一般質問と当局の答弁をいくつかピックアップし、本市が抱える課題と解決に向けての成果を検証しました。

これからも、市民の皆様のご意見を伺いながら、より暮らしやすく、よりあたたかい行政サービスが受けられる富山市にしていくため、奮闘してまいります。何卒、皆様からのご支援・ご指導を宜しくお願い致します。



この4年間の市議会本会議での、東の質問と当局の答弁

除雪状況の見える化を推進 《令和3年3月議会》

質問 除排雪車のオペレーターはGPS端末を持って仕事をしており、行政側は除排雪車が今どこにいて、どこを除排雪したか把握できることから、除排雪の状況を市民にわかりやすく情報提供する方法を構築する必要があると考えるが、見解を問う。

答弁 関係機関との情報共有を図り、道路状況や道路除雪状況などの情報収集を迅速に行い、ホームページやSNSなどを活用して市民へわかりやすく情報の提供を行うよう、検討を進めている。【建設部長】

東の思い

私の質問をきっかけに複数の議員がこの問題を取り上げ、現在のホームページ『富山市除雪状況提供システム』へと進化してきました。今年の大雪が続いた時も、通勤前にこのホームページで除雪状況をチェックした人も多いと思います。



「tetoru(テトル)」導入で先生と保護者の負担軽減に貢献 《令和4年12月議会》

質問 教員の時間外在校等時間を削減する手段の一環として、児童生徒の出欠連絡を電話ではない方法でも認めることで、教員や保護者の負担を軽減できると考えるが、見解を問う。

答弁 小中学校の欠席連絡について、児童生徒の登校時間帯に保護者からの電話が集中し、朝の忙しい時間帯に電話を掛けることに負担を感じたり、話し中のために何度も電話を掛け直すことに不便さを感じる方も多い。来年4月からすべての小中学校で欠席連絡システムの新規導入を予定しており、教職員と保護者双方の負担の軽減を図りたい。【教育委員会事務局長】

東の思い

県教職員組合の役員の皆さんと意見交換し、教育現場で奮闘している教職員の皆さんの生の声をもとにした質問です。富山市の学校での「tetoru」導入につながり、教職員と保護者双方から「良かった。助かっている」との声が届いています。

tetoru(テトル)とは

保護者から学校への欠席連絡や学校から保護者への連絡配信などをスマホやパソコンなどの端末で行うことができるソフトウェア



介護事業所でロボットやICT(情報通信技術)導入の推進を 《令和5年6月議会》

質問 国や県では補助金を出して介護ロボットやICTの導入促進を図っているが、本市としても補助金制度を創設して導入促進を図ってはどうかと考えるが、見解を問う。

答弁 市内の介護事業所等において、国や県の補助制度で、令和4年度の実績では介護ロボット導入促進事業を25事業所、介護施設等ICT導入支援事業を22事業所で実施し、市内の事業所で申請した事業はすべて補助採択されている。こうしたことから、現時点では独自の補助事業を創設することは考えていない。【福祉保健部長】

東の思い

介護ロボットやICTは高価な機器(ex.パワーアシストスーツ…約40万円、移乗サポートロボット…約80万円～95万円、コミュニケーションロボット…約70万円など)が多く、国や県の補助金を受けても事業所の手出しが必要です。また、これらの機器の導入は、介護離職を減らしていくことにもつながります。本市でも補助金制度を創設して事業所の負担を軽減することで、更なる導入促進につなぐことが必要です。



東あつしさんと連携して政治の大掃除

衆議院議員 山 登志浩



2020年末、私が衆議院富山1区での出馬を決意した当時、東さんは富山県連の幹事長を務めておられ、そのとき以来大変お世話になってきました。

東さんは、故又市征治参議院議員の公設第一秘書を8年間務められた経験を活かした政策通です。富山市にどうしても必要な議員なのです。

東さんが初当選されたのは、政務活動費の不正で大量に議員辞職が発生した時の補選でした。国会でも政治とカネの問題にけじめをつけるべく法改正の議論が佳境を迎えています。

国・地方ともにクリーンでガラス張りの政治・信頼の富山市政を実現するため、協力・連携をより一層強めて活動してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。